

宗祖降誕会（開校記念日）

浄土真宗を開かれた親鸞聖人のご誕生をお祝いする行事が「宗祖降誕会」です。

親鸞聖人は承安3（1173）年4月1日（太陽暦では5月21日）、京都の東南にある「日野の里」で、お生まれになりました。この頃は地震や飢饉などの大きな災害が全国的に続き、多くの人命が奪われていきました。親鸞聖人はそのような時代の中を生き抜かれ、苦悩する人たちが生きる拠り所となる「阿弥陀如来の救いの世界」を生涯をかけて明らかにされました。

その親鸞聖人のみ教えを「建学の精神」としている北陸学園は、明治13（1880）年「羽水教校」の名のもと、浄土真宗本願寺派の学校として創立されました。今年度は、開学百四十周年にあたります。長きにわたり、親鸞聖人のみ教えを「いのち」の大地とし、そこに多くの生徒が心豊かに生きる「こころ」の柱を樹ててきたのです。

新しい令和の時代に入っても災害は続いています。英知をしばって世界中の人たちと手を携えて解決していかなければなりません。自分と他の人たちとが、共にいのちを大切にすることが求められています。

親鸞聖人の生き方やみ教えを学びながら、すべてのいのちあるものへの思いやり、生かされて生きることについて考え、毎日の学校生活を大切にしていましましょう。

令和2年5月21日

北陸中学校・高等学校
校長 朝倉 乗恵